

2022年-2023年度 健康経営プロジェクト報告書

丸尾興商株式会社

更新日:2023年10月10日



01

企業情報-概要-



会 社 名 丸尾興商株式会社

創 業 1951年1月

代表取締役社長 丸尾高史

資 本 金 6,000万円

社 員 数 328名(男性195名/女性133名)
※2023.10.01現在

事 業 内 容 管工機材・機械 工具・住設機器・電機機器・空調機器・産業設備機器・
電材・建材の卸販売、リノベーションの提案施工 など

事 業 部 水道事業部、機工事業部、住建事業部
EC事業部、海外事業部、Wonderwall事業部

事 業 所 本社、袋井支社、浜松支社、藤枝本管部、
DC静岡、DC東部、DC都田、築地ベース、元島田ベース、
TC川根、TC御前崎、輸入壁紙専門店Wonderwall

主 要 納 入 先 製造メーカー、上下水道衛生設備業者、
ハウスメーカー、工務店、リフォーム店、空調・電気設備業者

一般建設業許可 静岡県知事許可(般-2)第36401号 …
土木工事業、建築工事業、管工事業、電気工事業
静岡県知事許可(般-3)第36401号 …
とび・土工工事業、ガラス工事業、建具工事業



代表取締役社長

丸尾高史

02

健康経営の戦略



- **経営上の課題**

子育て世代・要介護家族を抱える社員が増加。
生産性を確保するためにも、
働きやすい労働環境を整える必要性がでてきた。

- **健康経営の実施により期待する効果**

ワークライフバランスを重視した働き方に
変えることで、様々なストレスや
身体的・精神的な負担を軽減化でき、
労働の効率化と生産性が上がることが期待される。
また、働きやすい環境づくりのために社内リフォームプロジェクトを
立上げ実施しており、継続することで社員が自発的に
改善に取り組むことができる環境となることが期待できる。

- **具体的な数値目標/設定の背景**

健康宣言の5つの取り組みを主要な指標とし、毎年計測する。
この5つの取り組みは社員のQOL向上につながり、
企業の発展とともに形成していく上で必要なものと判断。

03

健康宣言



当社は「あらゆる商材を、ワンストップでより深く、革新的なお客様サポート企業へ」をVisionとしております。その実践のために従業員の健康を守り、活力ある職場環境を構築するため、従業員の健康づくりに取り組むことを宣言します。

<取り組み内容>

- 社員の健診100%
- メンタルヘルス
- 生活習慣改善
- 適正な働き方
- 禁煙・分煙対策



協会けんぽ静岡支部の
ふじの健康づくり推進にて宣言

04

健康経営取組み

<2022年度～2023年度結果>



2022・2023年度 健康経営取組みの経年比較

2022年度：2021年4月～2022年10月

2023年度：2022年4月～2023年10月

	2022年度	2023年度
 健康診断受診率	100%	100%
 育休取得率	100%	100%
 月平均残業時間	9.1時間	8.3時間
 喫煙率	29%	28%



「2023年度の成果と効果検証」

2023年度は月平均残業時間、喫煙率が前年比より改善。

- ① 時間単位有給の制度に関する内容を研修。
取得方法のみならず、ワークライフバランスを重視した働き方の成功事例を紹介。
年間時間有給の取得合計時間が社員一人当たり平均3.8時間から4.5時間に増えた。
- ② 2023年度は、アンケートでも要望の声が一部あり、「完全禁煙」を導入した。
- ③ 育児休暇を取得促進のため、休暇取得者にインセンティブ5万円を支給。
時間単位休暇や特別休暇の取得の推奨。

<今後の展望> 残業をできるだけ減らし、休みを取りやすい環境をつくりながら、業務の生産性を落とすことなく維持できる方法を社員の声をききながら継続していく。

05

健康経営の取り組みに関する効果検証



7 生産性を阻む要因分析（プレゼンティーズム）

実際に就業している状態での身体や心に関する不調を特定します。



各健康リスク項目に該当する従業員比率を見える化すると同時に、リスクピラミッドで高リスク～低リスク従業員の比率も概観します。先行研究によれば表中、網掛けをした項目がプレゼンティーズムと有意な相関関係があるとされています。※1

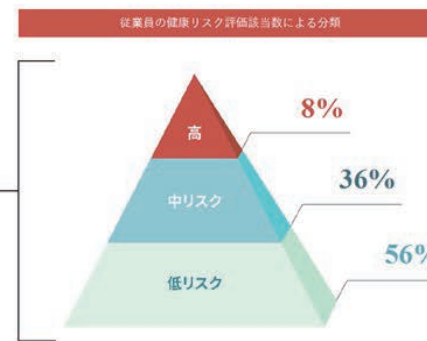
健康リスク評価項目と従業員の該当率		
健康リスク	項目	従業員の該当率
生活習慣	喫煙習慣あり	25%
	飲酒習慣あり	14%
	運動習慣なし	73%
	睡眠休養不十分	33%
疾病・病気	不定愁訴あり	16%
メンタルヘルス	主観的健康感不良	8%
	生活満足度低	14%
	仕事満足度低	34%
	ストレス高	22%

生活習慣、疾病・病気、メンタルヘルスの9項目の該当数から、回答者の健康リスクを評価し、高、中、低の三つのリスク群に分類します。

1. 該当したリスク数を足し算

2. 健康リスクを評価（標準）

リスク数： 0-2	⇒	低リスク
リスク数： 3-4	⇒	中リスク
リスク数： 5-	⇒	高リスク



プレゼンティーズムは健康リスクの上昇に伴って増加する構造であることが指摘されています。※1

低リスク者の割合が50%以上となることが望ましいとされています。

※1 日本労働研究雑誌
平成30年6月号「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」
東京大学 古井・村松・井出

健康経営取り組みにおいて効果検証を、アクサ生命保険(株)の提供する従業員アンケートを使い、東京大学・広島大学の研究機関のプレゼンティーズム計算方法で算出し、実験的に実施しました。健康リスク評価9項目を基にプレゼンティーズムによる労働生産性の損失コストを算出し、2024年度にむけ新たな取り組みを決め、改善を実施してまいります。(健康経営の経営的視点による取り組み結果)健康リスクの割合が上記※1の統計データと比較すると、

当社は平均よりもリスクが少なかったことが確認できました。

引き続き、健康経営エキスパートアドバイザーと連携してよりよい取り組みを行ってまいります。

1 健康関連指標の変化と目標値



健康関連指標	2022年度	2023年度	目標値 (2024年度)	最終目標値 (2027年度)
定期健康診断	100%	100%	100%	100%
喫煙率	29%	28%	26%	22%
アブセンティーズム <small>(傷病による平均欠勤日数)</small>	—	2.9日	2.8日	2.5日
プレゼンティーズム <small>(東京大学1問方式による生産性低下率)</small>	—	25%	23%	21%
ワーク・エンゲージメント <small>(新職業性ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問【2項目】によるスコア)</small>	—	2.3	2.5	2.8
仕事満足度 <small>(従業員アンケート調査によるスコア)</small>	—	2.5	2.7	3.0

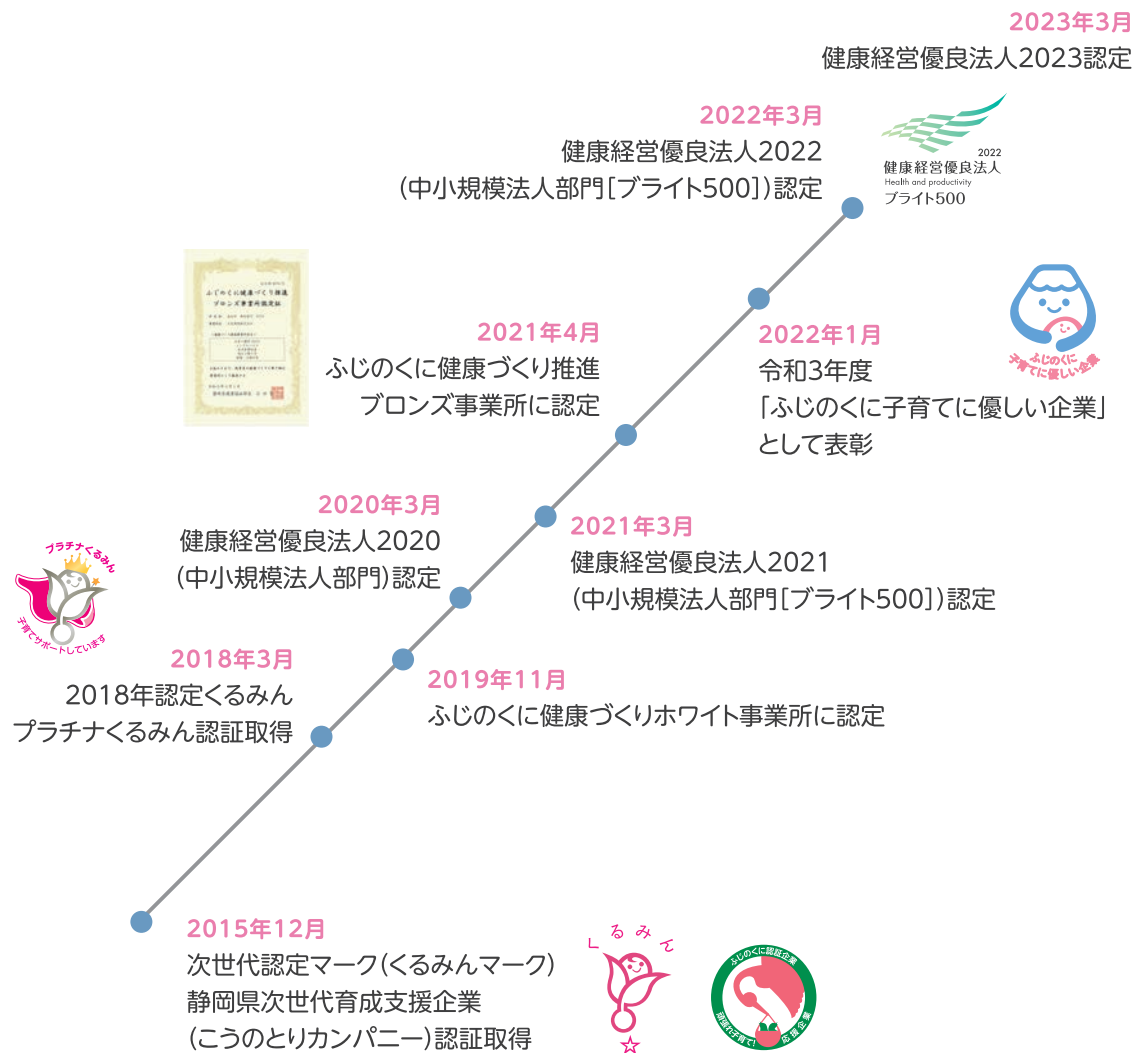
2 健康経営施策の参加率



施策内容	参加率
運動アプリ(みんなチャレ)	59%(2023年6月) ※アプリ登録者のうち実施した数
男女共同参画勉強会 ● 女性活躍推進 ● アンコンシャスバイアスとは ● 育児で使用できる制度	視聴率90%(2023年7月) ※社員数339名中309名視聴
管理職向けラインケア研修 ● ラインケアとは ● 健康経営との繋がり ● アンガーマネジメント	対象者46名(2023年8月) リアルタイム参加:32名 動画視聴:14名

06

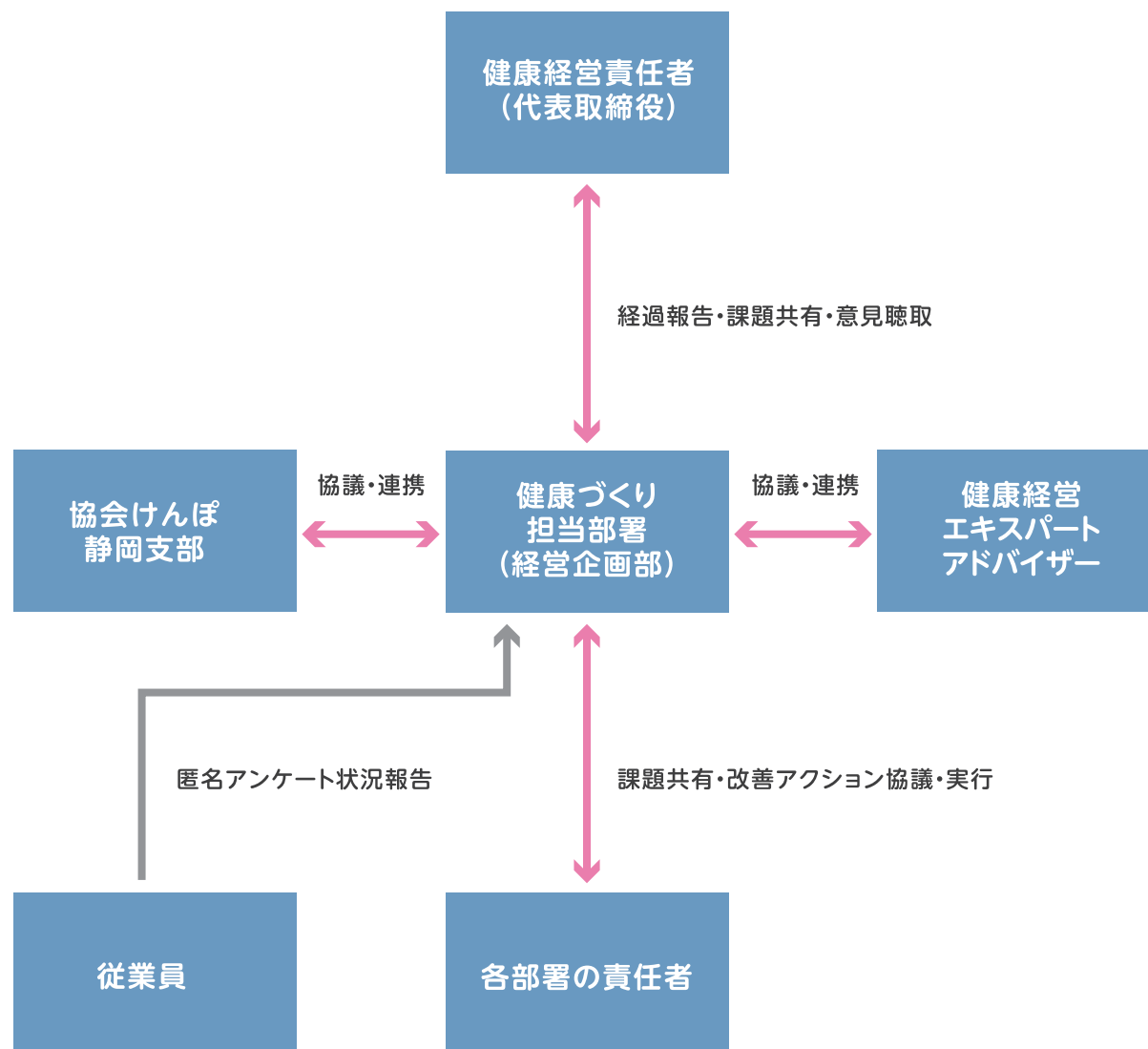
健康経営の取り組みに至るまで…



働く全従業員の健康と子育て支援をしております。従業員の健康増進や豊かさをサポートしたいという思いから、健康経営を導入しています。従業員の健康管理を経営的な視点で考え、今後も継続して従業員のワークエンゲイジメントの向上に取り組んで参ります。

07

当社の健康経営 推進体制





今後の課題への取り組みについて

